

PMW-F55, PMW-F5 フームウェア V2.0 リリースノート

2013 年 10 月 7 日

【概要】

PMW-F55/F5 のアップデート版(Package Software Version 2.0)をリリースします。必要に応じてバージョンアップを行ってください。以下にて関連製品の 2013 年 10 月 4 日現在の最新ファームウェアバージョンを記載します。

Product name	Latest firmware	Release date
PMW-F55/F5	V2.0	本リリースノート
AXS-R5	V2.0	2013 年 10 月 4 日
AXS-512S24	V1.2	2013 年 6 月 5 日
AXS Utility Software	V1.2	2013 年 10 月 4 日
RAW Viewer	V2.0	2013 年 10 月 4 日

本ファームウェアはお手元の PMW-F55/F5 がどのバージョンでも直接バージョンアップが可能です。

AXS-R5 をお持ちの方は同時に V2.0 へのアップデートしてください。

また、V2.0 にアップデートされた F55/F5 と R5 を V1.22 以下のバージョンにダウングレードすることはできませんのでご注意ください

追加注意点：V1.15 もしくはそれ以下のバージョンから直接 V2.00 にバージョンアップした場合は、バージョンアップ完了後、必ずカメラの System メニュー内にある「All Reset」を行ってください。カメラの「All Reset」を行うと、それまでの全てのセッティング項目はデフォルトに戻ります。セッティングを保持したい場合はバージョンアップ前に File メニュー内の「All File」を行った上でバージョンアップ作業を行って下さい。

尚、1.22 をインストール時に All Reset を行ったカメラから V2.0 にアップデートする場合には All Reset は必要ありません。

【変更点 (V1.22→V2.0)】

1. ハイフレームレート(HFR)記録

XAVC 1920x1080p の場合、120FPS でのハイフレームレート記録が可能となり、最大 5 倍速(24p 時)のスローモーション撮影が可能です。また AXS-R5 を用いた RAW 記録時は 120FPS の他に 180FPS、240FPS を、イメージセンサーの撮像サイズ(画角)が変わることなく 2KRAW として記録することができます。HFR 撮影時、高周波帯域においてモアレが発生する場合があります。別売りの Optical 2K Filter “CBK-55F2K”を使用することによりモアレを解消することができます。純正 4K フィルターと本 2K フィルタ

ーの装着状況はステータスボタンで確認することができます。

2. 120FPS 時の XAVC HD、2K RAW 同時記録

AXS-R5 を用いて 120FPS 選択時は F55/F5 本体で XAVC HD と RAW の同時記録が可能です。

3. システム周波数 24.0p の対応

XAVC と RAW モードにおいて 24.0p のシステム周波数に対応しました。

4. XAVC 2048 x 1080p への対応

F55/F5 において XAVC 2048 x 1080p に対応しました。対応しているシステム周波数は XAVC 1920 x 1080p と同じです。

5. レンズマウントアダプター“LA-FZB1/FZB2”に対応しました。

別売りの LA-FZB1/FZB2 を使用することで 2/3 インチ B4 レンズを F55/F5 に装着することができます。また 12 ピンレンズケーブルを接続することにより、レンズ情報を F55/F5 で読み込むとともに、レンズ側のレックトリガーやズームレバーの制御、RM コントローラーからのアイリスコントロールが可能になります。

6. サブディスプレイでコントロールできる項目の大幅追加

サブディスプレイ左側の AU/TC ボタンを押して、オーディオレベル・オーディオチャンネルセレクト・タイムコードセッティングが直接可能になりました。また FILE ボタンから ALL ファイル、シーンファイル、レンズファイルのロードが可能です。既存の CAMERA ボタンも拡張され、新たに CAMERA-2 ページを追加。カラーバーのオン/オフ・オートホワイト・オートブラック・SDI ディスプレイのキャラクタオン/オフをコントロール可能です。

7. サブディスプレイの表示情報追加

オーディオレベルスケールを追加しました。またファイル名情報も TC 表示の下に追加しました。スタンバイ時はネクストクリップ情報、収録時は記録中のファイルネーム情報、再生時は再生中のクリップネームを表示します。

8 サブディスプレイ上で EI 値の変更と MLUT のオン/オフ切替が可能

CineEI モード時、EI 値の変更(13 ステップ)と MLUT のオン/オフ切替がサブディスプレイから可能です。

9. MLUT に P4(Preset 4)として S-Log2 を追加

CineEI モード時、MLUT に P4 として S-Log2 を追加しました。即座に S-Log2 とその他プリセットに変更が可能です。

10. VF 出力と SDI 出力に WFM、ベクター、ヒストグラムを表示

VF 出力と SDI 出力にウェーブフォーム・ヒストグラム・ベクターを表示することができます。アサイナブルボタンに“Video Signal Monitor”をアサインすることにより 3 つのモニターと表示オフを切り替えることができます。

11. DVF-EL100 と L700 での False カラー機能

False カラー機能を使用することにより、簡単に適正絞りをセッティングすることができます。この機能は S-Log2 ガンマ選択時(Custom モード時)、S-Log2MLUT 選択時(CineEI モード時)に使用することができます。VF のスペアボタンを押すことにより以下の該当輝度が 6 色で表示されます。

本機能を使用するには DVF-EL100/L700 をファームウェア V1.1 にアップデートする必要があります。本アップデートはサービスによるアップデート作業が必要です。ソニーのサービス担当または担当営業までお問い合わせください。

また、アップデートされた DVF-EL100/L700 は V2.0 にアップデートされた F55/F5 でのみ使用可能です。
それ以下のファームウェアが実装された F55/F5 に装着すると VF は起動しません。ご注意ください。

Color	IRE 出力レベル	意味
Red	105.4%以上	White Clipping
Yellow	102.4 – 105.4%	Just below white clipping
Pink	41.3 – 45.3%	One stop over 18% gray on S-Log2
Green	30.3 – 34.3%	18% gray on S-Log2
Blue	2.5 – 4.0%	Just above black clipping
Purple	0.0 – 2.5%	Black clipping

12. ユーザーボックスマークの追加

ユーザーボックスマークを追加しました。任意にボックスマークの位置とサイズを決めることができます。

13. フォーカスアシストインジケーター

画角中心部分のフォーカス合わせをアシストする、フォーカスアシストインジケーターを追加しました。

14. フリッカー軽減機能

蛍光灯下やその他環境で発生するフリッカーを軽減する機能を追加しました。

15. 4つの SDI を同時出力

SDI2 出力に SDI1 出力と同じ信号を、SDI4 に SDI3 と同じ信号を同時に出力することが可能になりました。

16. SDI3/4 と TEST OUT より SD 信号を出力

SDI3/4 より SD SDI 出力を、TEST OUT よりアナログコンポジット信号の選択が可能になりました。

17. SDI 出力と HDMI コネクタより 3840 x 2160p 出力

Custom Mode, Rec Formatが XAVC 4K 時、SDI 出力と HDMI コネクタから 3840 x 2160p を選択可能になりました。レターボックスとエッジクロップの選択が可能です。

18. 4K/QFHD 出力として 2 サンプルインターリープ方式出力の追加

4K と QFHD 出力時に今までのスクエア方式に加えて 2 サンプルインターリープ方式を選択可能です。

19. SxS メモリーへの収録素材に対する Rec Review 機能

アサイナブルボタンより SxS メモリー収録素材のレックレビューが可能になりました。

20. Fujifilm社製 Fujinon Light Weight Zoom Series(ZKシリーズ)レンズとソニー製 SCL-Z18x140 の対応

Fujifilm 社製の ZK シリーズズームレンズに対応しました。F55/F5 の PL レンズマウント部に接続するだけでホットシュー経由(Type C)にて、レンズ情報を F55/F5 で読み込むとともに、レンズ側のレックトリガーやズームレバーの制御、RM コントローラーからのアイリスコントロールが可能になりました。またソニー製 SCL-Z18x140 ズームレンズにも対応。F55/F5 の FZ レンズマウントに接続することで、アイリスコントロールに加えてズームコントロールも RM-B シリーズから可能になりました。(ズームコントロールは RM-B170 のみ)

21. ユーザーガンマへの対応

CvpFileEditor V4.2 で作成されたユーザーガンマを SD カード経由でロードすることができます。作成したユーザーガンマは SD カード上の「(root)/Private/Sony/PRO/CAMERA/HD_CAM/」に格納してください。

22. R/G/B での個別ガンマコントロール

Custom モード時、ガンマカテゴリにて STD 選択時、RGB ガンマを個別にコントロールすることができます。

23. 新 XQD メモリーカードに対応

新 XQD メモリーカード(QD-S64E, QD-S32E and QD-N64)に対応しました。SxS メモリーカードアダプターを使用することにより使用可能です。各メモリーカードでサポートしているフォーマットは以下の通り。

[QD-S64E/QD-S32E] (2013年11月発売予定)

全コーデック

XAVC 4K, XAVC 2K, XAVC HD, SStP SR file, MPEG

[QD-N64] (2013年11月発売予定)

MPEG のみ

24. SxS メモリーカードと AXS メモリーカードの管理ファイル修復機能

SxS メモリーカードと AXS メモリーカードの管理ファイル修復機能を追加しました。

25. 強制メニュー表示先の変更

メニューボタン押下時に常にメニュー表示する表示先をSDI(sub)とVFで選択可能になりました。

26. ポップアップ表示のオン/オフ切替機能の追加

ND フィルタ一切替時などに表示されるポップアップ表示のオン/オフを切り替えることが可能です。

27. 中国語メニュー・ワーニング表示の追加

中国語(簡体字)でのメニューと主要ワーニング表示をメニューから切り替えることが可能です。

28. RM-B カメラコントローラーでのレスポンス改善

カメラコントローラー(RM-B750,170,150)でのコントロールにおいてレスポンスを改善させました。

29. SStP モード時の ABB と APR が実行可能

SStP モード時、ABB と APR が実行可能になりました。

30. SDI(Main)出力のデフォルトフォーマットを変更

59.94p/50p モード選択時、SDI(Main)のデフォルト出力を 1920 x 1080p より 1920x 1080i に変更しました。

31. Lens Interface 項目のデフォルトを変更

Lens Interface のデフォルト値を”Type C”より”Off”に変更しました。

32. CineEI モード時の記録メディアのデフォルトを変更

CineEI モード時の記録メディアのデフォルトを”AXS & SxS”より”AXS”に変更しました。

33. 記録メディアで“AXS & SxS”選択時、AXS メモリー未挿入時の REC 動作変更

記録メディアとして“AXS & SxS”選択時に AXS メモリー未挿入の場合、REC ボタンを押しても記録がスタートしない仕様に変更しました。

34. SStP モード時、“メディア内の記録フォーマットとは異なる Main Operation 選択時は再生不可”に変更

SStP モード時、メディア内の記録フォーマットとな異なる Main Operation(RGB/YPbPr)選択時は再生不可に仕様を変更しました。

【運用時の注意事項】

1. F55/F5 と R5 のレックタリーについて

RAW モード時、F55・F5 のレックタリー点灯よりも実際の記録は遅れています。F55・F5 のレックタリーが先に点灯してしまいますので、RAW モード時は収録ミスを避けるため R5 のタリーを正として運用してください。本現象は 10 月末リリース予定の V2.1 で修正予定です。

2. SxS メモリーを挿入してすぐの素材再生について

SxS メモリーを挿入してすぐ素材を再生したい場合は VF とサブディスプレイの Stby の表示を確認してから再生してください。Stby 表示前に素材を再生すると動作が不安定になる場合があります。本現象は 10 月末リリース予定の V2.1 で修正予定です。

3. システム周波数と記録フォーマット変更時について

システム周波数と記録フォーマット変更後、稀にメニュー動作が遅くなったり SDI 出力が機能しない現象が確認されています。この様な現象に遭遇した場合は F55/F5 の電源を一度オフして再起動下さい。本現象は 10 月末リリース予定の V2.1 で修正予定です。

【バージョンアップの方法】

別紙“Version Up Guide”を参照してバージョンアップしてください。

ファームウェア名：

PMW-F55_V200_2.00_33_2013-10-02_07-35-53_firmware.bin

PMW-F5_V200_2.00_33_2013-10-02_07-42-19_firmware.bin

EOF